

叙任辭令 (六月分續)

○六月七日

道路技師兼土木技師 松田愛太郎

十級俸下賜

(五月二十八日 月兵庫縣)

○六月八日

叙從六位

正七位 牧野 潔

叙從七位

正七位 山口 鶴藏

○六月九日

叙正七位

(四月十六日 宮内省)

願三依り本職並兼職ヲ免ス

道路技師兼土木技師 奥山宗太郎

○六月十五日

仙臺土木出張所勤務ヲ命ス

内務技師 寺田竹治

道路技師 瀧田昇平

九級俸下賜

(五月三十一日 北海道廳)

九級俸下賜

道路技師 奥山宗太郎

叙從七位

(六月十三日 宮内省)

依願免本官

寺田竹治

(六月十四日 内閣)

編輯室の内外

編輯室の内外

鬱陶とい梅雨期と爲つた、毎年のごまがら厭な天候だ、九州邊やら中國邊は大洪水に見舞はれたごま、同地方に於ける讀者諸君で災害に遭はれた方も澤山あるごま、想像され、謹でお見舞を申上げ。

遅時きながら本年度豫算も、會員總會で承認された、毎年豫算編制のごまやら事務報告のごまで文句を附けられる定例であつて、編輯同人ごまには憤慨してヤケ酒を啣つた連中も此歳こそは聊か得意氣、それごころでは無い、一言居士で有名な上院議員某氏が、いつに似合はず本誌の進歩を賞揚して斯界稀に見る雑誌だと言つて呉れた、併しそのお褒めの言葉よりは先に經濟學者の一般から賞めて貰つてゐる、今更の賞揚には餘り喜もしないが、兎に角本誌が今日の隆昌を見るに至つたのは讀者各位の御聲援に依るのであつて深謝する。

理事の交迭も行はれて、理事會にも新顔が殖えて來た、内務省の土木局長、前川第一技術課長、鐵道省の貨運運輸局長、加賀山工務局長を理事に迎へたごまは本會の前途を益新らしくする所以、夫れに本會創立當時から盡力を煩じた佐上信一氏が、内務省地方局長に來られて理事會毎に出席して貰ふやうになつたのは、編輯同人の氣を強くするごころである。

新年度には雜誌部經濟に特別積立金を設置することになつた、是も本誌の發展を切語るもの、是からは理事に新人を得た氣勢に附加して益本誌の發展を期する積り、ごうか御聲援を願つて已まない。(路政價)

本號定價 五拾錢  
一ヶ年分 金六圓  
發行所 東京市麴町區大手町一丁目内務省内  
發行社 法人 道路改良會  
編輯者 上山 陸造  
東京市小石川區久堅町一〇八  
印刷所 共同印刷株式會社  
印刷者 君 島 潔